

技術士 1 次試験に合格して



安藤 千尋
(あんどう ちひろ)

勤務先

池田煖房工業株式会社
ソリューション事業部

〒001-0012 北海道札幌市北区北 12 条西 3 丁目 1 番 10 号
TEL 011-726-1145 FAX 011-726-1158
E-mail solution@ikedan.co.jp

■ 専門：衛生工学部門

1. 自己紹介

このたび技術士 1 次試験衛生工学部門に合格いたしました安藤千尋と申します。札幌市北区の池田煖房工業(株)ソリューション事業部に所属し、一般事務と省エネ・新エネに係わる業務に携わっております。

29 歳で現在の会社に就職する際は「一般事務」としての採用でした。もともと高校・大学の専攻は建築設備業とは全く違う分野を学んでおり、知識も全くと言っていいほどありませんでした。しかし、少人数の部署で業務を行うにあたって専門的な知識が必要な場面が多くなり、管工事施工管理技士の勉強から徐々に衛生工学の知識を深めていきました。

2. 受験のきっかけ

技術士という資格の名前は知っていましたが、どのようなものかは全く知りませんでした。ここ数年部署内で受験する方が多かったのと、「小学生でも受験できる資格」という誘い文句に乗って記念のつもりで申し込みました。

3. 受験勉強について

専門的な知識が非常に少ないため、管工事業にもっとも身近な衛生工学部門を選びました。幸いなことに、上司がベテラン技術士であったこと、周囲に衛生工学部門で技術士を受験する方が多かったことにより、情報や問題集はたくさん揃っており、かなり助けられました。

専門科目は問題集が少なく不安でしたが、技術士 1 次試験 1 か月前の 1 級管工事施工管理技士試験に向けて勉強していたので、それに合わせて取り組みました。

適性科目は常識的な考え方をすれば大丈夫、とい

う合格者の言葉を信じ、基礎科目は過去問題集を参考によく出る問題のパターンを覚えておきました。

4. 試験について

適性科目は「技術士とは」という姿勢が問われる部門で、落ち着いて問題文を読む余裕があればそう難しくは感じませんでした。ただ 1 時間という制限時間に対して問題文の量が多かったので、読書を趣味としていてよかった、と感じました。

専門科目は直前まで管工事施工管理技士の勉強をしていたことと、環境に関する問題が多かったことでなんとか自信のある回答をそろえることができました。

基礎科目は「解析」「材料・科学・バイオ」に関しては歯が立ちませんでした。が、「設計・計画」「情報・論理」はじっくり考えればわかる問題が多かったので、クイズを解く感覚で回答できました。

試験終了後は 1 日やりきった達成感と、この試験をこれから何度受けることになるのだろうという思いで会場を後にしました。

結果、専門科目はほぼ 5 割とぎりぎりでしたが、運よく合格することができました。うれしい反面、こんな私が受かってしまって良いのだろうかと不安になりました。

5. 今後に向けて

二次試験については実務経験があと 1 歩足りないのと、圧倒的な経験不足から数年先の受験を考えています。日々の業務を技術士補としての視点で見直し、身近な技術士の方々を見習って勉強し続けていきたいです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。